

第三者評価結果

I 保育の公開に伴う保育のプロセス評価

1. 事前訪問時に抽出された自覚的な良さや課題

平安幼稚園では平成 27 年度から幼稚園型認定こども園に移行しており、幼稚園とは違う認定こども園としてのあり方を模索しながらこれまでの保育・教育内容を見直していきたいという思いがあった。

課題には気になる子に対する対応がきちんとなされているかと、基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みが効果的になされているかというのが上げられた。

良さについては、認可外からスタートして今年で 41 年になるが、保護者や園児との信頼関係が継続してしっかり結ばれているということが上げられた。

2. 公開保育実施時の課題等

- ・保育者が個々の子どもへの個別の配慮や関わりができていたか
- ・子ども達が自分で考えて行動できるような声かけができていたか
- ・子ども達が積極的に保育に参加できるような配慮ができていたか

3. 公開保育後のカンファレンスにおける外部から見た良さや課題

課題に対して参加した先生方から「子ども達の状態が落ち着いていた」「先生が一人一人としっかり関わっている」といった意見が多かった。

また、自由遊びの時間が短いのではないかという意見もあがった。

4. 事後の園内研修において整理された良さや課題並びに課題解決の方策

公開保育後のカンファレンスで出された様々な意見やアドバイスをもとに、事後の園内研修を行った。課題としていた内容についてはこれまで通りの取り組みに自信を持つことができたが、新たな課題として、子ども達の自発的な活動の強化を進めていくことが抽出され。子ども達の作り出す活動について見直していくことが上げられた。

II 公開保育コーディネーターからの報告

県内で初めて行われる ECEQ 公開保育であったが、公開保育園、参加者双方にとって大変意義のある素晴らしいものになったと実感している。

公開保育園にとっては同業種の方に保育を観てもらうことに対する心配や自信のなさといったところが大きくあったが、参加者からは参考になる点が多くあったというご意見やお褒めの言葉をいただき自信をつけることができたと感じた。さらに他園の保育と比較した意見を聞くことで自園の新たな課題を見つけることができたと思う。

また、参加者にとっても他園の保育をじっくり参観する機会は滅多にないため、自己を振り返りつつ自身の保育内容を見直す機会になったという意見が多くあった。

平安幼稚園では次年度に向け、子ども達の自由な時間の確保やその時間を有意義に過ごすための環境作りについて、試行錯誤しながら一歩ずつ取り組んでいきたいとこのことであった。

質の高い幼児教育を目指して、公開保育に関わった全員が気持ちを新に幼児教育に対して大きな意欲を持つことができたと思う。